

学校給食センター

親子施設見学会

7月25日、学校給食センター親子施設見学会が開催されました。

当日は、午前11組22人、午後12組28人の親子が参加し、センター内は終始にぎやかな雰囲気になりました。

初めに、給食センターの仕事と見学中の注意事項をスライドで紹介してから入室。エアージャワー室、検収室、下処理室、炊飯室、揚げ物焼き物室、調理室、コンテナプール、洗浄室を順番にまわり、部屋ごとに行う作業内容と設備の説明を聞き、その後、大きな釜の前で、子どもたちは自分の背丈と同じくらいのしゃもじを持って釜の中で動かしてみたり、ハンドルを回して釜を傾けたりと体験も行いました。見学後には、キャロットゼリー、手づくり蒸しパンを試食し、参加された親子からは、「調理場内部を見れてよかった、実際に調理しているところも見たい」との声が聞かれました。



読書感想文書き方教室

8月8日、図書館で読書感想文書き方教室が開催され、36人の児童が参加しました。



読書指導員の宇沢先生と加瀬先生が講師となり、書き出しの工夫や書くためのメモの使い方など感想文の書き方のポイントをわかりやすく教えていただきました。参加者からは「いままではつきりしなかったポイントが理解できた！」などの声が聞こえ、有意義な講座となりました。

夏休み子ども科学講座

8月5日、図書館で「ワールドトラベラーが語るアジアの昔と今」と題し、講演会が開催されました。

世界の人形館館長高康治氏を講師に迎え、246の国・地域を旅した講師ならではのお話に参加者は熱心に聞き入っていました。



お宝めがけて一目散！ 屋形海水浴場で宝さがし

7月28日、屋形海水浴場で、観光協会主催の「宝さがし」が、午前・午後1回ずつ行われ、延べ400人が参加しました。

折りたたみ自転車や電化製品など豪華景品が用意されるこのイベントを毎年楽しみにしている参加者もいて、「今年こそは自転車を持ち帰りたい」と意気込む方も。ピストルの合図が鳴り響くと、全員がお宝めがけて一目散に会場へかけこみ、隠された札を懸命に探していました。



▲お宝はどこ？